令和６年度　北広島市立緑ヶ丘小学校　学校だより

緑ケ丘

Midorigaoka

令和６年度の重点；つたえる つながる つづける～「自分さがし」のために

教育目標
『大地に根ざし
未来を拓く
人間の育成』
「進んで考え、伝え合う子」
「やさしい心で、支え合う子」
「心も体も、元気な子」

学校だよりNo.10　令和7年1月31日発行

３rd.Action“つながる”～“自分を好きになる旅”へ

校長　荒谷　卓朗

【『好きをみつける』】～キーワード：多様な出会い・経験が人生を変える】

図書委員会の本の紹介活動に触発されて『心理学テスト BOOK』を立ち読みしていると、通りがかりの６年生にクスッと笑われ、一緒にテストしてみました。
皆さんは、次のどれに当てはまりますか？トライしてみてください。

『自分の好きなことを見つけよう』
- □１　一人でボーっとして過ごす
- □２　趣味に没頭する
- □３　友だちや家族と話をして一緒にすごす
- □４　目標にきめ、それに向かって努力する

シングルエイジを過ぎるくらいから、客観的に自分を見る力が育つと言われています。様々な体験をする中で、次第に、感情や衝動を抑える、周囲との良好な関係性を保つ、先を見通して適切な行動をするなど、“自分を調節するハンドルを握る感覚”が身についていきます。得意や苦手なものはあっても、社会に適応して生活する上で困らない程度の資質・能力を身につけることが必要です。

こうした成長過程の学びを北広島市では「大志学」として教育課程に位置づけています。具体的には『夢ノート』に考えを記す中で、自分自身をみつめ、先を見通し、できることをみつけて、自ら行動を起こし、やったことを振り返って、次のアクションにつないでいきます。このように、“見通す→行動→振り返り”という学びのプロセスを数多く経験することで、子供に困難や課題を自ら解決する力がつくことを目指しています。

子どもたちは大人の都合で生活する地域が決まります。保護されなければ生きられない弱い存在です。だからこそ、生きるために適応する力は高く、成長するスピードにはいつも驚かされます。ある意味、制限されていることが適応力を身につける経験になるわけです。しかしながら、いずれは親元を離れて、自立への道を歩んでいく独立した存在です。ですので、決められたルールの中で生活することから、自分で問題解決する力が育つように、周囲の環境を整えることが大切です。

私たち教職員も、今年度の教育活動を振り返り、改善の方向性について論議しています。その具体的な手立てとして学級編成があります。多くの学びを経験させることが子供のより良い成長につながるという視点で、次年度は全ての学級で学級編成（クラス替え）を行います。令和７年度は、単学級の新６年生を除く、１学年から２学年、２学年から３学年、３学年から４学年、４学年から５学年の進級時に学級編成（クラス替え）を行います。

これまでもスキー授業では能力別（経験値）によるグループ編成をしています。学齢よりも志向別など個別に最適な学びの環境を整えたほうが習得も早く、身につけたことを活用する場合も、多様な展開や知見を得ることにつながることが期待できます。

現在、一部の学年では算数などの習熟度別グループで学習を行っています。例えば、低（１～２）学年、中（３～４）学年、高（５～６）学年間の交流など学習場面を工夫することも想定し、個別最適・協働的な学びの環境づくりを進めることも可能でしょう。「何ができるようになるか、何を学ぶか、どう学ぶか」は子ども自身が選択して決める、「好きを大切にする」ことが、将来の職業選択につながると私は考えています。

２月行事予定　帰宅時刻　16時30分

給食 → ○は全学年給食あり ×は給食なし 数字×は該当学年のみ給食なし

日	曜	学校行事	相談	給食
1	土			
2	日	開校記念日		
3	月	児童委員会⑥（最終）　安全点検日	○	○
4	火	6年生中学校登校体験③・入学説明会　学年部会	○	○
5	水	なかよし集会③・なかよし班活動反省　職員会議		○
6	木	職員会議	○	○
7	金	短縮5時間　広教研全体研究協議会②		○
8	土			
9	日			
10	月	1～3年な参観日　学年部会　資源回収日 卒業式案内状発送（来賓）	○	○
11	火	建国記念日		
12	水	職員会議		○
13	木	1・2年な読み聞かせ　1・2年国際交流③　PTA研修会（講演会）14:00　ICT支援員	○	○
14	金	幼児学級(入学説明会)　1～3年4時間給食あり　図書貸し出し最終日　卒業式案内状配布（保護者）		○
15	土			
16	日			
17	月	図書返本（～28日）	○	○
18	火	短縮日課　児童会選挙		○
19	水	4・5年参観日	○	○
20	木			○
21	金	6年参観日（卒業を祝う会）　フッ化物洗口	○	○
22	土			
23	日	天皇誕生日		
24	月	振替休日		
25	火	6年生を送る会	○	○
26	水	卒業式式場設営	○	○
27	木	PTA役員会⑥　PTA運営委②19:00　ICT支援員		○
28	金	全校朝会④（認証式）　フッ化物洗口	○	○

○2月より帰宅時刻が16時30分となります。ご家庭でもお子さんへの声かけをよろしくお願いします。
○1月より時間講師として
　先生が着任いたしました。6年生を中心に指導にあたっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

緑ヶ丘小学校「開校記念日」

　2月2日（日）は緑ヶ丘小学校の開校記念日です。「緑ヶ丘小学校」という校名は最初10の候補が選定されました。児童によるアンケートを行い、最も投票数の多かった「緑ヶ丘小学校」を最終的な候補としました。その日が2月2日で、開校記念日として設定されました。

　「校章」は、緑ヶ丘小学校と周囲の自然・風土・歴史をイメージし、緑の丘がイメージできるデザインとなっています。豊かな自然に抱かれた環境の中で、将来の夢や希望に向かってたくましく成長する児童と学校の姿をシンプルに力強く表現しています。

スキー学習を行っています

　例年に比べて少ない積雪ですがようやくグラウンドの雪山が完成し、1・2年生対象のスキー学習が始まりました。

　3・4年生はダイナスティ、5・6年生は長沼スキー場での学習を2回ずつ実施しました。スキー連盟の講師の先生方、ボランティアの保護者の方々にもご協力をいただいて無事に終えることができました。保護者の皆様にはスキー道具の準備や搬入等にご協力いただき大変ありがとうございました。

第2回PTA運営委員会

　令和6年度のPTA活動を総括するPTA運営委員会を下記のとおり開催します。役員の皆様のご参加をお願いします。

　日　時　2月27日（木）19：00
　場　所　緑ヶ丘小学校視聴覚室
　内　容　各委員会からの活動報告

玄関前路上駐車の際のお願い

　送迎等で玄関下の道路に駐車される場合は以下のことを守っていただきますようお願いします

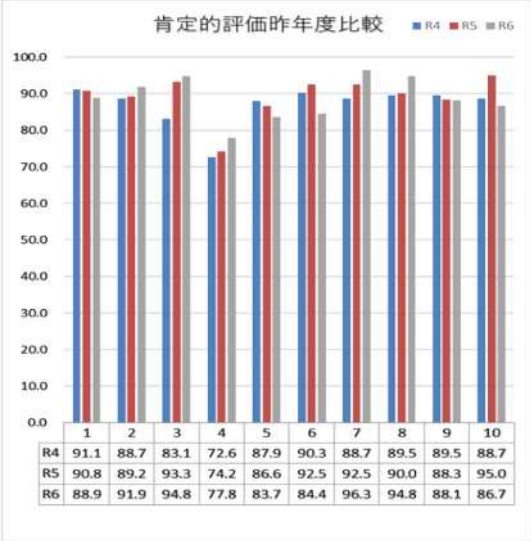
　①横断歩道前後の駐車はご遠慮ください
　②道路の反対側への駐車は近隣住民の方々のご迷惑になりますのでご遠慮ください。

【令和6年度　学校教育に関する保護者アンケート結果について】

　昨年末に行った保護者アンケートでは多くのご家庭にご協力いただき、大変ありがとうございました。アンケートをもとに傾向や課題を分析し、本校の教育目標である「大地に根ざした未来を拓く子どもたちの育成」を目指し、これからの緑ヶ丘小の学校づくりに生かしてまいります。

【肯定的評価（A・B評価）の経年分析】

		R3	R4	R5	R6	差
1	家庭や地域との連携	90.8	91.1	90.8	88.9	-1.9
2	特色ある教育活動	90.8	88.7	89.2	91.9	2.7
3	一貫教育の推進	86.2	83.1	93.3	94.8	1.5
4	一貫教育への理解	79.2	72.6	74.2	77.8	3.6
5	学力の定着	88.5	87.9	86.6	83.7	-2.9
6	学習環境の整備	86.9	90.3	92.5	84.4	-8.1
7	優しさや思いやりを育てる教育活動	90.8	88.7	92.5	96.3	3.8
8	基本的な生活習慣の育成	90.0	89.5	90.0	94.8	4.8
9	子どもの健康や体力向上の取組	90.8	89.5	88.3	88.1	-0.2
10	子どもの安全や事故防止の取組	89.2	88.7	95.0	86.7	-8.3



【子どもたちの「良い所」と「ありたい姿」】

〇挨拶

・挨拶をしてくれる子も多く、しつけや教育が行き届いていると感じます。

・誰に会っても元気に挨拶のできる子たちが、緑ヶ丘小にはたくさん居てステキです。

〇やさしさ・思いやり・仲良し

・思いやりがあって、優しい子たちに育ってくれていると思います。

・違う学年の子とも仲良くなる雰囲気があるのが、緑ヶ丘小学校の良い所だなと思いました。 これからも学年問わず、まわりの気持ちを考えながら仲良く出来ていければ良いなと思います。

〇努力・熱心・真面目

・人に優しく、真面目で一生懸命に育ってほしい。

〇明るさ・楽しい・好奇心

・明るく素直な子が多いです。

・明るく元気で、子供達が将来自立し、常に健全な精神を保ち、幸せに暮らして欲しいと願っています。

〇素直・のびのび

・緑ヶ丘小は小さな学校であるため、子供と先生や地域の結びつきが強く、子供達が安心してのびのび過ごせているように思います。

・学校全体に仲の良い雰囲気を感じます。のびのびと健やかに育っている子どもが多いと思います。 日本の未来を牽引する人材になるべく、土台となる知識や思考力を培うとともに、心も育ていってほしいです。

〇向上心・チャレンジ・たくましさ・自己肯定感・多様性

・自己肯定感を養ってほしい。

・広い視野を持てるよう、様々な経験を積んでそれを活かす力を身につけて欲しいです。

〇主体性・判断力

・勉強だけに限らず色々な事に興味をもって自分で調べ行動できるような人になってほしいです。

・新しいことに挑戦する力と失敗しても、解決方法を考え出す習慣を身につけてほしい。

〇学習・表現力・コミュニケーション

・学習意欲が高く、習得しようと努力する姿勢が素晴らしいです。目標をたて計画的に取り組む力を身に着け、最後までやり遂げ成功させる人に育ってほしいです。健康も大切にしてほしいと思います。

・善悪の判断がきちんとでき、お互いを尊重し合う子どもたちでいてほしいと思っています。

〇協調性

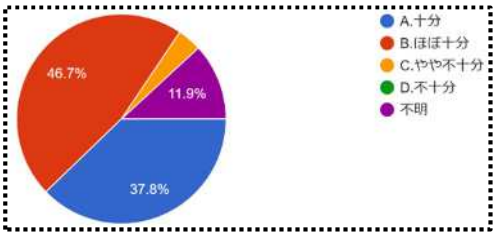
・思いやりを忘れずに相手の意見も聞けて、自分の意見も伝える事ができ、互いの意見を尊重し合える人間関係を築けるように成長し続けてほしいです
・協調性、自主性　自分もお友達も大事にできるように育ちあってほしいです。

〇感謝・その他（要望も含めて）

・緑ヶ丘小の子は子どもらしく素直に育っている子が多いように思います。先生方の関わりのおかげです。ありがとうございます。
・学校には、個別対応も理解して引き受けてくださり感謝しています。
・初めての一年生の親にはもう少し細かく教えていただけるとありがたいかなと思います。
・もっとネットリテラシー教育に全体的に力を入れて欲しいです。
・子どもたちに色々な場面があると思いますが、子どもの声をしっかりと聞いていただきたいと思います。

【水泳学習の今後の方向性について】

～保護者アンケート設問⑪～
『今年度8月に発生した本校での水泳事故を受けて、危機管理マニュアルを見直し、「水泳学習の手引き」を作成しました。ご覧いただきご意見をお聞かせください。』



・毎年プール学習前に、なぜ溺れている人を見つけたら早く知らせないといけないのか、AED とはどんなものなのかなど、子供たちへの意識付けもあればいいと思いました。
・マニュアルに特に不備はないと思います。 スキー学習のようにボランティアで見守りを募集してはいかがでしょうか？
・監視人が常に見渡せる位置に配置しても、目をきってしまえば、その一瞬で事故はおきます。 監視人数も増やし、細分化して、子ども達が必ず誰かの監視下に置かれる状態をつくる必要があると思う。
・他の市町村や都道府県の指導体制と照らし合わせてみても不備があったとは思っておりません。子どもたち、保護者が安心できるよう、事後の対応や来年度以降の安全施策など、緑ヶ丘小の取り組みに大変感謝しています。
・対策内容は十分ですが、教師の負担が増え、全ての対策が完全に行えないのではと感じました。
・提案なのですが、水泳教室の時、補助で親も監視という部分があれば、私もできる範囲で参加してご協力できればと思っています。

〇全体を通して高い肯定的評価をいただきました。特に「優しさや思いやりを育てる教育活動」「基本的な生活習慣の育成」「小中一貫教育の推進」についてはほぼ95％と高い数値となりました。折り鶴集会やハートフル集会、心に響く道徳教育やみどりのまなびを中心とした小中一貫教育の取組が周知された結果であるといえます。「小中一貫教育への理解」は昨年比+4.2 ポイントとなりましたが、77．8％であることから小中一貫教育の目的やねらいについて再度周知に努めて参ります。
〇「子どもの安全や事故防止への取組」は昨年比-8.3 ポイントとなりました。ご承知の通り、水泳事故の際には保護者の皆様に多大なるご心配をおかけいたしました。事故を受けて本校では学校安全計画の策定や危機管理マニュアルの改訂を行いました。今後も安全・安心を最優先にした教育活動を推進していきます。あわせて次年度もメール配信システムをより一層活用し保護者の皆様に適切かつ迅速な情報共有を図っていきます。
〇肯定的評価が昨年比マイナスとなった「学力の定着」と「学習環境の整備」については、各種分析結果をもとに学校としても次年度に向けて対策を講じて参ります。タブレットを活用したデジタルドリルや学習コンテンツと併用した紙ベースでの学習形態の必要性も再認識し、子どもたちに求められる資質・能力の育成に取り組んでいきます。また、授業においては『対話』を重視した学習を本校の授業の重点として子どもたちに表現させる体験を数多く設定していきます。
〇「家庭や地域との連携」においては、昨年比-1.9 ポイントとなりました。懇談会や教育相談などにおいて子どもを主体とした連携、各種通信やホームページなどを活用したタイムリーな発信に心がけて参ります。
〇「水泳学習の方向性」については、本校での水泳学習の手引きの作成や危機管理体制の見直しを評価していただきました。シミュレーション研修やAED研修など職員研修の充実、PTAやCSと連携した監視体制の強化、保護者への迅速な連絡体制の構築を推進のもと次年度の水泳学習を進めていきたいと考えております。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。